

偏心検査器

高さ調整式V受けアタッチメント (SAV 形)

取扱説明書

「正しくお使いいただくために、必ずご使用前には、この取扱説明書をよくご覧の上ご使用ください。
またお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管して下さい。」

組付け例 (イメージ)



安全上のご注意

※ご使用の前に、この **取扱説明書** をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様への危険を未然に防止するためのものです。

※注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをした場合に想定される内容を **危険** **警告** **注意** の3つの区分にしています。

安全に正しくお使いいただくために	
<p>この取扱説明書では、製品を正しくお使いいただき、お客様への危害や損害を未然に防止するために、本文中に色々な図記号や絵表示を示しています。</p> <p>その表示と意味は、次のようになっています。</p> <ul style="list-style-type: none">● 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。● お読みになった後は、この製品をお使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。● 全て安全に関する内容ですから、必ずお守りください。	
 危険	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が生じる切迫の度合いが想定される内容を示しています。
 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性、或いは物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
図記号の例	 <p>△ 記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを知らせるもので、図の中に具体的な注意内容が記載されています。 (左図は、特定しない一般的な危険・警告・注意の通告に使用)</p>
	 <p>○ 記号は、禁止の行為であることを知らせるもので、図の中や下部等に具体的な注意内容が記載されています。 (左図は、特定しない一般的な禁止の通告に使用)</p>
	 <p>● 記号は、行為を強制する内容を知らせるものです。 図の中に具体的な強制や指示の内容が記載されています。 (左図は、特定しない一般的な強制や指示に使用)</p>

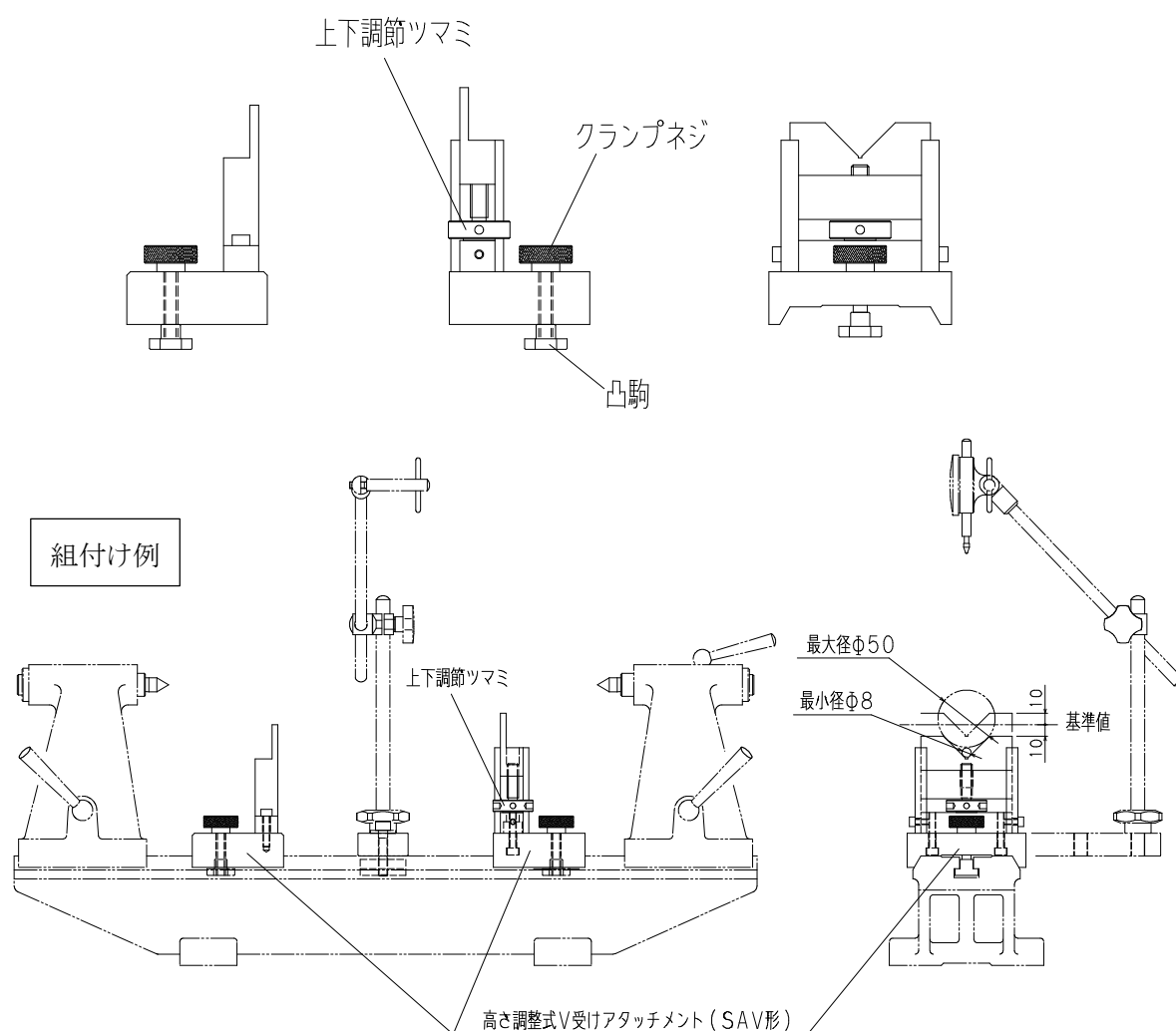
高さ調整式V受けアタッチメント (SAV 形) 取扱説明書

1. 製品の特長

- ・外径基準で測定を行う際に使用するアタッチメントです。
- ・支持部の外径が異なるワークにも対応できるよう、片側のV受けは高さ調整式です。
- ・V受けの幅は狭く設計されており、両フランジタイプのワークにも対応可能です。
- ・対応ワークサイズ： $\phi 8 \sim \phi 50\text{mm}$
- ・高さ調整範囲（調整側）：基準値 $\pm 10\text{mm}$ （固定側のV受け高さに対して）

※偏心検査器、テストバー、ダイヤルゲージスタンド、ダイヤルゲージは含まれておりません。
別途ご用意ください。

2. 各部の名称と姿図



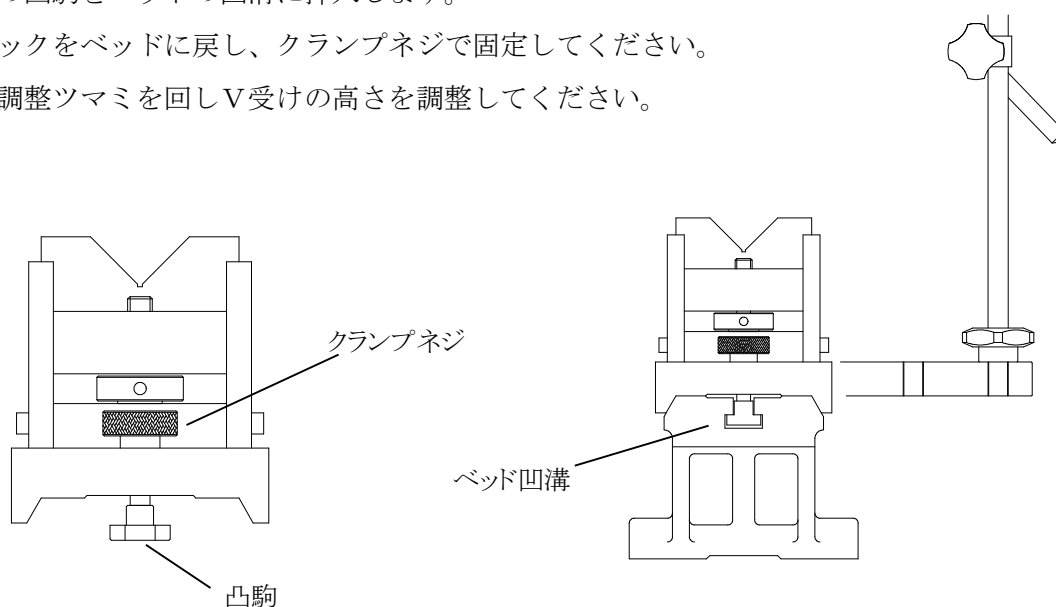
3. 仕 様

コード No.	形式	適用偏心検査器	質量(kg)
SAV101	SAV-1	No. 1 ML-1	4
SAV102	SAV-2	No. 2 ML-2	7.5

4. 使用方法

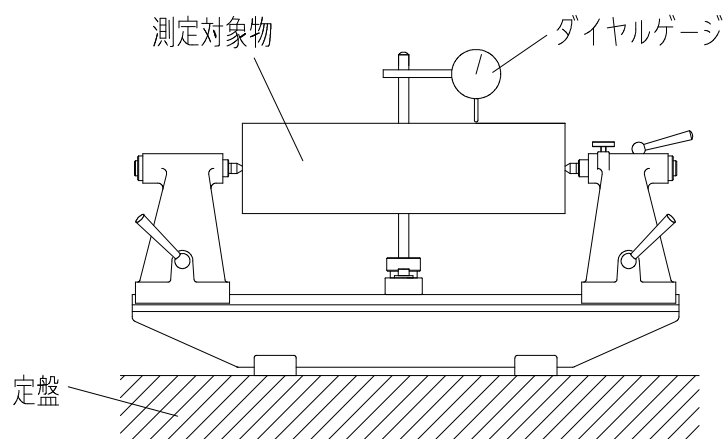
アタッチメント取付方法

- ① 偏心検査器のベッドからストックを取り外します。
- ② 本器の凸駒をベッドの凹溝に挿入します。
- ③ ストックをベッドに戻し、クランプネジで固定してください。
- ④ 上下調整ツマミを回しV受けの高さを調整してください。



測定方法

- ① ワークを本器に取り付けます。
- ② ダイヤルゲージを取り付けたスタンドを本器上に設置します。
- ③ ダイヤルゲージの測定子をワーク最上点に軽く当てます。
- ④ ワークを回転させ、針の振れ幅を記録します。



6. 使用上の注意

- ① 本器を使用時には、この取扱説明書及び偏心検査器の取扱説明書を合わせてお読みください。
- ② 使用前には、使用面及びワークの測定面をきれいにして下さい。
- ③ 使用するときや保管時に本器に衝撃などを与えないよう注意して取り扱ってください。
- ④ 使用するところの温度になじませてご使用ください。
- ⑤ 温度変化の甚だしい場所等での使用や保管はしないで下さい。
- ⑥ 無理な荷重や衝撃などを与えないよう注意してください。
- △ ⑦ ワークを取り付ける前に、本器が偏心検査器に固定されていることを必ず確認してください。
- ⑧ 使用後は必ず防錆処理を行って下さい。
- ⑨ 以下のような場合には、本器の異常の有無を確認してから使用してください。
 - ・ 本器を落下させたとき。
 - ・ 本器上に物を落下させたとき
- ⑩ 定期的に異常の有無を確認して使用してください。
- △ ⑪ 製品に鋭利な部分がある場合は、取り扱い時に指や体の他の部位を傷つけないよう注意してください。
- △ ⑫ 必要に応じて保護手袋や保護眼鏡を着用して作業を行い、怪我を防いでください。
- △ ⑬ 損傷または劣化した本品を使用しないでください。怪我や事故の原因となる可能性があります。
- △ ⑭ 怪我が発生した場合は、直ちに応急処置を行い、必要に応じて医師に相談してください。

JIS 認証取得工場



株式会社 大菱計器製作所

OBISHI KEIKI SEISAKUSHO Co., Ltd.

本 社 〒940-1164 新潟県長岡市南陽 1 丁目 1216-1

工 場 TEL (0258) 22-1100 FAX (0258) 22-0014

東京営業所 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3 丁目 5 番地

TEL (03) 3293-8881 FAX (03) 3293-8884

名古屋営業所 〒460-0015 愛知県名古屋市中区大井町 3 番 15 号 日重ビル 2F

TEL (052) 322-4031 FAX (052) 322-5647



■ 本社・工場

■ 精密測定機器の設計・開発、製造ならびに校正サービス

(水準器、定盤、直定規、測定基準器、直角定規、ブロック、
ダイヤルゲージスタンド、コンパレーター、偏心検査器、直角度測定器)

ISO9001 認証

JQA-QMA11294